

## 「人生曲線の“ボン”」を感じる！

### ＜市中学校体育大会 激励会(R5.6.8) 激励の言葉＞

いよいよ市内大会本番を迎えます。

さて、人間が何か目標に向かっていく時の過程について、次の3つの観点から考えてみます。

それは、①「努力」・②「実力」・③「結果」です。

まず、②「実力」と③「結果」の関係です。特にスポーツの大会など、他と競う合う場合は、どんなに自分に「実力」が備わっていたとしても、周囲が自分よりも「実力」が備わっているという相対的な実力の差、また、単純に自分の方に運が味方していなかったり、その競技を取り巻く様々な状況次第で、自分が望んだ表面上の「結果」は望めないかもしれません。

つまり、「実力」があるからといって、必ずしも自分が自分たちが望むような「結果」が伴うとは限らないものです。つまり、「実力」と「結果」には明確な相関関係はないのです。

では、①「努力」と②「実力」の関係はどうでしょう？正しい方法で「努力」をすれば、必ずや「実力」はつくものです。でも、「努力」と「実力」の関係は決して比例はしません。

例えば、今日一生懸命陸上の練習をして、100mで0.0001秒早く走れるようになって、明日一生懸命練習してまたその日に0.0001秒早く走れるようになって、などということはないのです。勉強も然りです。覚えたことを忘れて、また覚えて忘れて、また覚えて、それを繰り返すことで、本当の知識や技能が身につくのです。

「時間」を横軸、「実力」を縦軸とすると、きれいに右肩上がりの直線で実力がついていくわけではありません。頑張っても頑張っても上がったり下がったりくねくねとした線を描くでしょう。でも、あきらめないで頑張って「努力」していれば、いつの時か、やがて“ボン”とその線がほぼ真上にとんでもない勢いで跳ね上がる時がやってきます。それこそが「実力」がついた瞬間の証であり、別の

言葉で言い換えるならば「成長」の瞬間です。

私は、この瞬間を、「人生曲線の“ボン”」と勝手に呼んでいます。

生きている上で、みんなには、この「人生曲線の“ボン”」を感じてほしいのです。「あれ、何か前よりも早く走れるようになった気がする。」「投げるボールのスピードが速くなったと実感できる。」

これまでできなかったことができるようになった、とか、自分の力が向上したと自分自身で明確に自覚できる、とか、多分「人生曲線の“ボン”」を感じたことがある人はいるのではないのでしょうか。私自身もあります。数少ない回数ではありますが。

でも、美味しいものを食べたり、みんなとワイワイ楽しい時間を過ごしたり、ユーチューブで楽しい番組を見ている時以上に、この「人生曲線の“ボン”」を実感できた瞬間こそが、人間としての最大の幸せであり喜びであると、私は思うのです。

初めて自転車に一人で乗れた時とか、初めて逆上がりができる時って、ものすごく嬉しくなかったですか？

この「人生曲線の“ボン”」を手に入れるために、人は「努力」するのではないのでしょうか。その武器となる姿勢こそが、「コツコツ」とか「地道に」とか「ひたむきに」と呼ばれるものなのです。

さて、決戦間近です。

実は、この「人生曲線の“ボン”」は、大舞台や真剣勝負の場面でやってくることが往々にしてあるのです。それを「大化け」した、とか、「覚醒」したと表現する人もいます。

今回の市内大会本番においても、「人生曲線の“ボン”」がやってくる可能性があるかもしれません。ただし、本当に皆さんが、これまでそれぞれの活動の中で、「コツコツ」「地道に」「ひたむきに」練習に励んでいたという紛れもない自信と確信があるならば、です。

今回の話は、スポーツや文化活動に限らず勉強にもあてはまることです。ぜひ、「人生曲線の“ボン”」を何度も感じることでできる生き方をめざしてください。

もちろん今回の市内大会では、“勝利”を獲得すること以上に、大切なことがあります。それは、友達や家族や先生方など、これまで自分を支えてくれたすべての人への感謝の気持ち。そして、これからも周囲から「愛され励まされ応援される」にふさわしい態度で大会に臨むことです。選手諸君とそれを応援する全校生徒の心が一つになるような市内大会になることを心から期待しています。